

山行報告書

作成: 2013年8月18日 愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	尾瀬ヶ原、至仏山	目的[方法]	ニッコウキスゲ鑑賞
期間	2013年7月20日(土)、21日(日)	形態	テント泊
参加人数	2人		

行動記録:

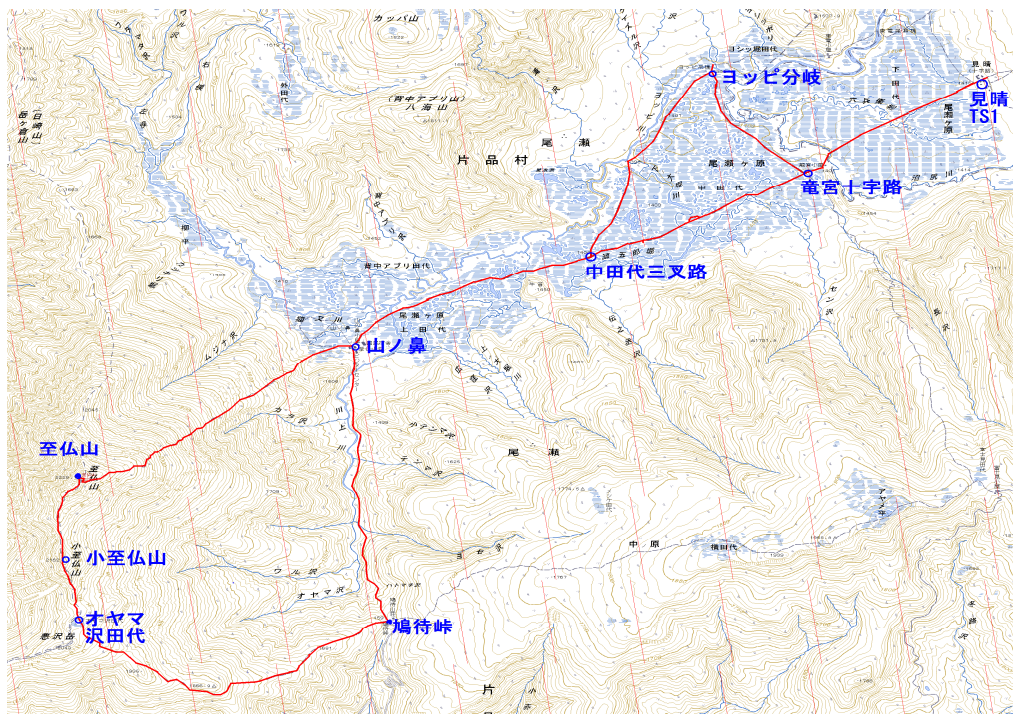
◆7月20日(土): 晴れ

三河安城(ドリームなごや三河 2号)(7/192349)=0:33=岡崎駅(022)=5:17=新宿駅東口(539)=1:41=新宿駅新南口(代々木)(関越交通バス)(720)=4:00=尾瀬戸倉(乗合バス(1120,1140))=0:30=鳩待峠(1210,1245)-1:05=山ノ鼻(1350,1415)-0:50=中田代三叉路(1505,1520)-0:40=竜宮十字路(1600,1605)-0:25=見晴キャンプ場[TS1] 1630 2000 就寝

◆7月21日(日): 曇りのち晴れ

TS1 起床(300,505)-0:40=竜宮十字路(545)-0:30=ヨッピー分岐(615)-0:40=中田代三叉路(655,700)-0:30=山ノ鼻(730,750)-3:30=至仏山(1120,1145)-0:50=小至仏山(1235)-0:25=オヤマ沢田代(100)-1:15=鳩待峠(乗合バス)(1415,1430)=0:35=戸倉(関越交通バス)(1505,1540)=3:40=新宿駅東口(1920)=4:50=新宿駅新南口(代々木)ドリームなごや三河 1号(010)=5:17=岡崎駅(527)=0:29=三河安城駅(5:56)

概念図



メモ:

- ◆ドリームなごや三河 2号
往路 6180円
復路 4600円(早割)
- ◆関越交通尾瀬直行便
(新宿~尾瀬戸倉)
往復 7000円
- ◆乗合バス(戸倉~尾瀬)
片道 900円×2=1800円
- ◆テント場
燧小屋受付 800円/人
入浴 500円
090-9749-1319
- ◆温泉
グリーンプラザ新宿
リ・ラックスパ クイック
90分 1500円
03-3207-4921

日誌:

初のバス旅。3列シート、45度のリクライニングで予想以上に睡眠がとれる。鳩待峠は人でいっぱい、まるで観光地。尾瀬に入るとほとんどが木道歩き。木道は2列で右側通行のため渋滞することはない。山ノ鼻を過ぎると念願の尾瀬ヶ原! 広~い草原に青い空、爽やかな風、遠くには燧ヶ岳、ニッコウキスゲ、カキツバタ、ワタスゲも咲いていて、これぞ尾瀬! に感動。なんと清々しいところなの! は、束の間...。歩荷をしてお山ノ鼻から見晴までの木道歩きは辛い。明日はこの道を帰って山に登るのか...。見晴のテント場はすでに50張り程、静かな場所を見つけて寝床を作り、燧小屋で入浴。なんと贅沢な山行、木道歩きの疲れもとれた。

二日目、燧小屋の人から今年はニッコウキスゲはいまいち、でもヨッピー方面はおススメで、キスゲを求めてヨッピーに向かう。確かによく咲いている。早朝なのでキスゲのイキもいい。出発の遅れとヨッピーへの寄り道でコースタイムが遅れている、写真は程々にして山ノ鼻へ急ぐ。至仏山は急登続き、途中から滑りやすい蛇紋岩で注意しながら登る。山頂に近づくにつれ青空が見え、花も増えてテンションが上がる。振り向けば尾瀬ヶ原と燧ヶ岳が一望でき絶好のコンディションだ。山頂は360度の大展望。平ヶ岳、越後駒と山並みが続き、富士山の裾野の僅かに見えた。しかしながら、人、人、人。100人はいるだろうか、写真をとるのも順番待ちである。至仏山は上りは一方向通行で上りのみだが、下りは両方向通行。山頂近くの岩場では道が狭く、そのたびに渋滞して、ツアー客の団体が通り過ぎるのを待って下る。バスの時間が...、急いで下山し念願の花豆ソフトを食べながらバスに乗り込む。

感想:

バス旅は旅行気分が楽しいが、時間が決まっているのでゆとりのある計画が必須である。でも、下山してからの入浴とビールがなんともいえず嬉しい。またこんな山旅をしてみたい。

参加者名

